

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
	社会教育計画B Planning for Social Education B	後藤誠一	専門	2	選択	2 年 後期

科目的概要

本科目は、社会教育主事資格取得に関わる科目であり、社会教育主事としてどのように地域住民のもつ学習へのニーズや課題などの地域の現状や課題、社会教育・生涯学習実践を把握・理解し、具体的な計画づくりや改善を行うのかを検討するものである。

学修内容	到達目標
① 社会教育計画の概要・視点・方法について学ぶ。 ② 地域住民のニーズの把握と課題解決を考える。 ③ 社会教育職員の専門性と力量形成について学ぶ。 ④ 学習の場について学ぶ。 ⑤ 地域住民のもつ能力や可能性について検討する	① 社会教育計画について理解し、説明できる。 ② 地域住民のニーズと課題の発見と共有ができる。 ③ 職員の専門性・力量形成を論じることができる。 ④ 多様な学習の場について説明できる。 ⑤ 地域住民のもつ能力や可能性を論じることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 自分の興味・関心に沿って学習を深めることができる。
	働きかけ力 困っている人がいたら、自分に何ができるのか考えて、行動することができる。
	実行力 授業に必要な情報を収集することができる。
考え方抜く力	課題発見力 授業で問われていることは何か、学習を進める上での課題は何かを考えることができる。
	計画力 授業で問題を解決するための方法を創りだすことができる。
	創造力 多様な課題を解決するための方法を創りだすことができる。
チームで働く力	発信力 自分で考えたことを他者に分かりやすく伝えることができる。
	傾聴力 他者の話を相手の立場に立ちながら理解することができる。
	柔軟性 状況に応じて柔軟に対応することができる。
	情報把握力 複数の情報を効率的に整理・分析することができる。
	規律性 集中するときと休むときの切り替えを柔軟に行うことができる。
	ストレスコントロール力 ストレスを適切に管理することができる。

テキスト及び参考文献

テキスト: 使用しない。適宜資料を配布する。

参考文献: 辻浩・片岡了編『自治の力を育む社会教育計画』国土社、2014 年 日本社会教育学会編『地域を支える人々の学習支援』東洋館出版社、2015 年 など。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: 他の社会教育主事資格取得に関わる科目と関連する。

資格との関連: 社会教育主事(任用資格)

学修上の助言	受講生とのルール
板書しながら講義するので、整理しながらノートをとること。 分らない言葉や気になるキーワードは、電子辞書、ネット、図書館等でまず自分で調べてみる。	公民館、図書館、博物館などの社会教育施設に行ってみることをお勧めします。 運動会などの地域行事、NPO やボランティア団体の活動などにも関心を持つようとする。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
レポート		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)	70	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	講義の基礎的な内容を理解し、分りやすく整理し報告ができるかを問う。 【評価の目安】優:①講義内容を理解したうえで、②これまで学んできた知識や技能を活用し、③自分やチームの分析や提案を論理的に展開できる。良:「優」の要素のうち二つを満たしている。可:「優」の要件のうち一つを満たしている。不可:「優」の要素のどれも満たすことができていない。
作品		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	30	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	・積極的な発言や質問、チームの活動を促進する行動、困っているメンバーを支援する行動などは、加点する。 ・欠席、提出物の未提出、私語などの周りの学生への迷惑行為があれば、減点対象となる。 ・他者に分かりやすい説明ができる
		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及び到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
S(秀):①講義内容を理解したうえで、②これまで学んできた知識や技能を活用し、③自分やチームの分析や提案を論理的に展開でき、④講義やチームの学習の深化に貢献できている。A(優):①講義内容を理解したうえで、②これまで学んできた知識や技能を活用し、③自分やチームの分析や提案を論理的に展開できる。	A(優)の 3 つの要素のうち、二つ以上を満たすことができる。

週	学習・教育内容	授業の実施方法	達成レベル C(可)の目安	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション:社会教育・生涯学習の基本的事項と「計画」の意義と必要性について学ぶ。	講義	社会教育・生涯学習の基本的事項を理解し説明できる。	これまで受講した社会教育・生涯学習の授業を復習する。	60	課題発見力、主体性
2週 /	地域住民の学習ニーズと課題を考える。 ①地域課題	講義	地域課題について理解し説明できる。	少子高齢化、人口減少、過疎化などについて調べる。	60	課題発見力
3週 /	地域住民の学習ニーズと課題を考える ②貧困等の福祉に関する問題	講義	貧困等福祉に関する問題について理解し説明できる。	貧困等福祉に関する問題について調べる。	60	課題発見力
4週 /	地域住民の学習ニーズと課題を考える ③発表・ふりかえり	講義、発表	地域住民の学習ニーズと課題について理解し説明できる。	地域住民の学習ニーズと課題について調べる。	60	課題発見力、主体性
5週 /	地域における学習の場:社会教育施設の機能と役割を考える	講義	社会教育施設について理解し説明できる。	社会教育施設やNPOなどについて調べる。	60	課題発見力
6週 /	地域における学習の場:NPO、ボランティア・地域活動について学ぶ	講義、グループワーク	NPO、ボランティア・地域活動について理解し説明できる。	NPO、ボランティア・地域活動について調べる。	60	課題発見力
7週 /	地域における学習の場:社会教育と福祉について検討する。	講義、グループワーク	社会教育と福祉について理解し説明することができる。	社会教育と福祉について調べる	60	課題発見力
8週 /	発表とふりかえり	講義、発表	社会教育・生涯学習の実態と課題について説明できる。	社会教育・生涯学習の実態について整理しておく。	60	課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学習・教育内容	授業の実施方法	達成レベル C(可)の目安	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	社会教育計画の概要を学ぶ	講義・グループワーク	社会教育計画の基礎的な内容について説明できる。	自分の住む地域の社会教育実践や計画を調べておく。	60	計画力
10週 /	社会教育計画の内容を学ぶ	講義・グループワーク	社会教育計画の具体的な内容について説明できる。	社会教育計画の事例を調べる。	60	計画力
11週 /	社会教育計画の策定方法を学ぶ	講義・グループワーク	社会教育計画の具体的な策定方法について説明できる。	社会教育計画の事例を調べる。	60	計画力
12週 /	発表と振り返り	講義、発表	社会教育計画について具体的に説明できる。	社会教育計画の事例について調べる。	60	計画力、主体性
13週 /	社会教育職員の専門性と力量形成について学ぶ①	講義・グループワーク	社会教育職員の専門性と力量形成について説明できる。	社会教育職員の専門性と力量形成について調べる。	60	課題発見力
14週 /	社会教育職員の専門性と力量形成について学ぶ②	講義・グループワーク	社会教育職員の専門性と力量形成について説明できる。	社会教育職員の専門性と力量形成について調べる。	60	計画力
15週 /	最終発表・ふりかえり	講義、発表	全体の内容について具体的に説明できる。	全体の内容の復習を行う。	60	計画力、主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 倾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性
ストレスコントロール力